

**厚生労働省主催
平成29年度院内感染対策講習会
奈良県文化会館国際ホール
H29.12.14・15(木・金)**

2病棟 看護師長 井河 里佳

「平成29年度院内感染対策講習会」受講して

平成29年12月14日～12月15日の2日間にわたり、厚生労働省主催の「平成29年度院内感染対策講習会」を受講してきました。近畿、中国、四国地方から約400人の医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師が集まった講習会でした。院内感染対策に関する多種多様な

講義内容で、なかには薬剤師や臨床検査技師の専門分野も含まれており、難解な内容もありました。

院内感染対策については、個々の医療従事者ごとに対策を行うのではなく、医療機関全体として取り組むことが重要であることから、全ての職員に対する組織的な対応方針の指示や教育等が必要となってきます。当院でも院内感染対策委員会を中心に、適切な知識の普及、啓発活動が活発に行われています。特に、ICTラウンドにおける指摘や指導により現場では気にとめることのない注意点や問題点がわかってきます。

今回の講習会で特に強調されていると感じた内容の一つとして、医療関連感染対策を怠ることにより、患者さんに多大な被害を及ぼすということです。単純な骨折で手術を受けた女性が、術後創部感染症を起こし骨髄炎に発展。その後、28回の手術を経た後足を切断するという事態にまでなったという動画がありました。切断後も様々な合併症を発症し、義肢で歩行できるようになったのは骨折から5年半を経過していました。医療関連感染は「やるかやらないか」ではなく、「やらなければならないもの」です。感染対策を独立して考えるのではなく、医療施設における様々な職種の様々な業務や手順に組み込んで身につけていく必要性を学びました。

初雪の降った奈良はとても寒かったですが、講習会の二日間は貴重な学びと、日頃の感染対策の復習をする場となりました。

学会等参加一覧

<p>第5回 日本難病医療ネットワーク学会学術集会 次世代の難病医療ネットワーク ～いきるを支える多職種と地域のちから～ 石川県地場産業振興センター H29.9.29・30(金・土)</p>	<p>2病棟 看護師長 井河 里佳 理学療法室主任 理学療法士 池上 司 3病棟 看護師 横山 竜弥</p>
<p>第52回 日本理学療法士協会 全国学術研修大会 in 石川 進歩する理学療法 石川県立音楽堂・ホテル金沢 H29.10.20・21(金・土)</p>	<p>理学療法室 理学療法士 上村 拓人 理学療法士 山地 康介</p>
<p>第16回 日本通所ケア研究会 広島県民文化センターふくやま・まなびの館ローズコム H29.11.17・18(金・土)</p>	<p>通所リハビリテーション室 理学療法士 土居 史明 介護職員 恒石 貴久枝</p>
<p>第12回 四国摂食・嚥下障害研究会 (独)国立病院機構徳島病院 H29.11.18(土)</p>	<p>言語聴覚療法室長 中川 愛友 言語聴覚士 窪田 美可 2病棟 看護師 山崎 美樹・池内 仁美 3病棟 看護師 森木 博子・松下 愛香</p>
<p>一般社団法人 日本自立支援介護・パワーリハ学会 パワーリハビリテーション基礎研修会 「運動器の機能向上サービスに関連する実務者研修会」 松山 楽楽パワリハ嬢達磨「来住」 H29.12.3(日)</p>	<p>通所リハビリテーション室 室長 理学療法士 市村 瑞也 理学療法士 土居 史明 介護職員 田所 朋美</p>
<p>公益財団法人 日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会 第5回 転倒・転落予防のための勉強会～シンポジウム形式～ 日本医師会館大ホール H29.12.7(木)</p>	<p>薬剤部 薬剤師 椎葉 貴行 5病棟 看護師 石谷 豪 理学療法室 理学療法士 前田 旅人</p>

医療法人つくし会 南国病院
第4回 地域オープンセミナー
「東日本大震災の被災者として伝えたいこと」
～自然と人間の共生を考える～
日本看護連盟常任幹事 尾形 妙子先生
宮城県仙石病院前看護部長
在宅医療支援センター・センターホール H29.10.28 (土)

2017年度 医療法人つくし会 南国病院 地域オープンセミナー
東日本大震災の被災者として伝えたいこと
 ～自然と人間の共生を考える～
 講師 **尾形 妙子先生**
 日本看護連盟常任幹事
 宮城県仙石病院
 前看護部長
 入場無料
10月28日(土)
 14:00～16:00 (13:30開場)
 医療法人つくし会 南国病院
 在宅医療支援センター4階ホール
 〒770-0004 高知県須崎市大野1丁目1番3
 主催・お問合せ：医療法人つくし会 南国病院(担当：梅原・佐光)
 ☎088-864-3137 FAX:088-863-3070
 裏面申込書をご使用ください

学術研修委員会委員長 精神科部長 玉元 徹

平成29年10月28日に、日本看護連盟常任幹事でいらっしゃる尾形妙子さんによる御講演でしたが、「東日本大震災の被災者として伝えたいこと」という表題と、「～自然と人間の共生を考える～」を副題としてのご発表でした。



これまで全国の至るところで、同震災について御講演なさっているとお聞きしましたが、現在もお、涙を流しながら重く辛い体験を被災者の代表として語られる姿に、深い感銘を受けました。通常なら、思い出したくもないと思われる方々が大半と考えられますが、辛さをこらえてご発表されるのは、誰にでもできることではありません。それでも同じ辛い思いを体験させたくないという使命感のようなものがお有りなのかもしれません。非常に尊敬できる方と感じました。



高知県須崎市の沿岸の地形に関しても触れておられましたが、そういう事実をもっとこれからも啓発し続けていていただきたいと思いました。まだまだそういう事実をご存じでない方が大勢いらっしゃると思われまし、地形に限らず、津波の想定も、想定外にならないよう検討を続ける必要があるように個人的には考えています。あまり考え過ぎても仕方がないという考え方もありますが、びくびくするわけではなく、冷静かつあきらめないで考



え続けることが大事ではないかと思

います。
 震災の話題は年々風化しやすいものです。毎年1回は講演で聴いていくと、嫌でも覚えていくものと思われまし、今後も当院のなんらかの機会に聞き続けられたら幸いです。